

## 愛西市個人情報保護条例施行規則の一部改正新旧対照表

改正後	改正前
<p><u>(要配慮個人情報)</u></p> <p><u>第1条の2 条例第2条第4号の規則で定める記述等は、次に掲げる事項のいずれかを内容とする記述等（本人の病歴又は犯罪の経歴に該当するものを除く。）とする。</u></p> <p><u>(1) 次に掲げる心身の機能の障害があること。</u></p> <p><u>ア 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）別表に掲げる身体上の障害</u></p> <p><u>イ 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）にいう知的障害</u></p> <p><u>ウ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）にいう精神障害（発達障害者支援法（平成16年法律第167号）第2条第2項に規定する発達障害を含み、イに掲げるものを除く。）</u></p> <p><u>エ 治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病であって障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第4条第1項の政令で定めるものによる障害の程度が同項の厚生労働大臣が定める程度であるもの</u></p> <p><u>(2) 本人に対して医師その他医療に関連する職務に</u></p>	

従事する者（次号において「医師等」という。）により行われた疾病の予防及び早期発見のための健康診断その他の検査（同号において「健康診断等」という。）の結果

(3) 健康診断等の結果に基づき、又は疾病、負傷その他の心身の変化を理由として、本人に対して医師等により心身の状態の改善のための指導又は診療若しくは調剤が行われたこと。

(4) 本人を被疑者又は被告人として、逮捕、捜索、差押え、勾留、公訴の提起その他の刑事事件に関する手続が行われたこと。

(5) 本人を少年法（昭和23年法律第168号）第3条第1項に規定する少年又はその疑いのある者として、調査、観護の措置、審判、保護処分その他の少年の保護事件に関する手続が行われたこと。

（個人情報取扱事務の届出）

第4条 条例第13条第1項第9号に規定する規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

(1)～(6) 略

（届出を要しない個人情報取扱事務）

第5条 条例第13条第2項に規定する規則で定める事務は、次に掲げる事務とする。

(1) 略

(2) 市又は国、独立行政法人等（条例第2条第10号に規定する独立行政法人等をいう。）他の地方公

（個人情報取扱事務の届出）

第4条 条例第13条第1項第8号に規定する規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

(1)～(6) 略

（届出を要しない個人情報取扱事務）

第5条 条例第13条第2項に規定する規則で定める事務は、次に掲げる事務とする。

(1) 略

(2) 市又は国、独立行政法人等（条例第2条第4号に規定する独立行政法人等をいう。）他の地方公共

共団体若しくは地方独立行政法人（同号に規定する地方独立行政法人をいう。）の職員又は職員であった者に係る個人情報のうち職務の遂行に関するものを取り扱う事務

(3) ・ (4) 略

団体若しくは地方独立行政法人（同号に規定する地方独立行政法人をいう。）の職員又は職員であった者に係る個人情報のうち職務の遂行に関するものを取り扱う事務

(3) ・ (4) 略